

学びを広げ、深める講師



深川 光耀

花園大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教員

(株) 計画情報研究所、京都市まちづくりアドバイザーを経て、現職。
1965 年から住民主体のまちづくりを継続する神戸市長田区真野地区のまち
づくりに学ぶ。専門は、住民主体のまちづくり、対話の場づくり。中京マチ
ビト Café や中京クーチャーセンターにファシリテーターとして関わってきた。



山本 安佳里

AKARI DESIGN・コドモト代表 / こどもと行こう！祇園祭 事務局

デザイナー、プランナー。2015 年より「AKARIDESIGN」、2016 年より「コ
ドモト」を始動。ブランディングやディレクション、グラフィックデザイン、ブ
ロダクトデザインと多岐にわたり活動中。自身が母になったことをきっかけに、
「こども=未来」だと実感し「コドモト」を立ち上げ、2017 年より「こどもと
行こう！祇園祭」を主催する。



山本 彩代

NPO 法人 場とつながりラボ home's vi

大学時代に国際交流や対話イベントを通して企画の楽しさと難しさにハマる。
2015 年から 4 年間、伏見区の「伏見をさかになごつばらん」に関わる。
現在は、社会福祉協議会や社会福祉法人の新規プロジェクトや組織変革の
伴走を行う。共著に『描いて場をつくるグラフィック・レコーディング』
(2021 学芸出版社)

協働のパートナー



石崎 立矢さん
(京都新聞社)

あそびと教育



ボーネルンド
永山 隆太さん
(ボーネルンド)



白水 育世さん
(白水育世相談室 主宰)



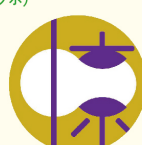
特定非営利活動法人
コミュニティ・スペース
sacula



芳野 尚子さん
(オトナリラボ)



右京区役所



中京区役所

問合せ

花園大学 tel: 075-811-5181

発行: 花園大学 発行日: 2024 年 4 月 デザイン・イラスト: AKARI DESIGN

花園大学 社会福祉学科 地域貢献コース

地域に出会い、地域に学ぶ

地域貢献コースは、主に市民団体や地縁組織、
民間企業、行政機関と協働して、まちづくりや地
域福祉、子育て支援等に取り組むことを通じて、
地域への理解を深めるとともに、課題解決に求め
られる能力や態度・姿勢を学ぶコースです。

京都や地元で地域課題の
解決を目指したい

行政や NPO のプロジェクトや、
地域活動に関わりたい

まちづくりや地域福祉に
関心がある！

社会福祉法人等で、
ボランティアに
関する仕事がしたい

花園大学

履修について

フィールドワーク演習・実習では、地域課題解決の基礎力を培うため、「地域への関わり方」「課題の発見力」「課題の解決力」を学びます。発展科目であるアドバンスフィールドワーク演習・実習では、課題解決に要する対話力を養うために、「ファシリテーション」や「ワークショップ手法」について学んでいきます。

これらの科目での実践的学びを通じて、地域貢献をなす技術・態度の獲得を目指します。

※ファシリテーション：会議や講座、集団活動などにおいて、一人ひとりの個性や多様性を活かしながら、創造的で、生産性の高い議論や学び、人間関係づくりを促進するスキル。



科目	配当回生	開講	単位数	実習費
フィールドワーク演習	1~4 回生	前期	1	—
フィールドワーク実習	1~4 回生	前期集中	1	2,000 円 (予定)
アドバンスフィールドワーク演習	2~4 回生	後期	1	—
アドバンスフィールドワーク実習	2~4 回生	後期集中	1	3,000 円 (予定)

フィールドワーク演習・実習

フィールドワーク演習・実習は、市民団体の活動や地域のまちづくりプロジェクトへの参加を通じて、「地域を知る」ことから始めます。

本演習・実習では、地域で課題解決に取り組む多様な実践者を講師に迎えるとともに、それらの実践者との取り組みをともにすることで地域課題解決の基礎力を培っていきます。

対象：社会福祉学科 1 回生以上 / 受講定員：15 名程度

※土・日曜日にフィールドワークに参加可能である者

演習・実習の内容



課題の発見

「こどもと行こう祇園祭」プロジェクトに参加。取り組みの背景にある実践者の想いや、地域の課題（祇園祭の歴史・文化の継承）を知る。



地域を知る

専門家の案内のもと、八坂神社や鈴町を巡る。実際に見聞きしなければわからないことがたくさん。



課題の解決

厄除けちまきって、ご存じですか？親子に祇園祭をわかりやすく伝えるリーフレットをコードモト（受入団体）と受講生が協働で制作。



地域に関わる

祇園祭こみぜろ大作戦にボランティアスタッフとして関わる。

アドバンスフィールドワーク演習・実習

地域において、まちづくりや地域活動を行っていくためには、多様な人々や主体（市民団体、地縁組織、民間企業、行政機関など）との協働が不可欠です。協働の際に重要となるのは、自身の想いや他者の考えを共有・深化させる「対話力」。

本演習・実習では、グループワーク等を通じて、ファシリテーション技術やワークショップ手法を学ぶとともに、実際に対話の場（ワークショップ）に参加することで技術だけではなく、対話の態度・姿勢を養います。

対象：対象：社会福祉学科 2 回生以上

受講定員：15 名程度

※フィールドワーク演習・実習を受講済みであることが望ましい。

こんな人におすすめ！

ワークショップやファシリテーションに興味がある



コミュニケーション・スキルを UP したい



緊張せずに、自然体で人と話せるようになりたい



演習・実習の内容

ファシリテーション

ペアワークの中で、話す力、聴く力を高めていきます。



ワークショップ手法

グループワークを通じて、ワークショップの手法を体感しながら学んでいきます。



地域に学ぶ

実習では、行政機関等が主催するワークショップに参加し、参加者との交流を通じて、対話力を養います。

